

拝啓 今年も早や2月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。港北ニュータウンの一角に梅林があり、先日見に行きましたら、紅梅、白梅が満開の状態で、楽しんで来ました。

今回は、小西芳之助先生の『コリント人への第一の手紙講解説教』からの引用の9回目ですが、今回のエンカウンターの6ページ、「イエスは救い主であると告白する人は、聖霊に導かれた人」という項目には、次のように書かれています。

「また逆に、パウロは、イエスを神の子とし、我が救い主とし、我らに永遠の生命を与える神の子とし、救い主である、と告白する人は、聖霊に導かれた者である、と言っています。この説明により、聖霊を受けた者がどのようになるか、また、聖霊を受けていない者がどのようになるかを明確に説明しています。これが聖書の解釈です。」

今回は、聖霊について書かれている個所がたくさんあります。つくづく、キリスト教は聖霊がカギであると思います。

故佐生健光さんから、引き継いだ資料の一つに高円寺東教会で発行していた「よろこび」という教会の月報のバックナンバーがあります。ところどころ欠号がありますが、30年間に発行された「よろこび」のほとんど全部揃っています。そこで、その製本を横浜市の業者に発注しました。出来上がりが楽しみです。「使徒行伝」に関心があります。

この一月に読んだ『一日一生』等の本から、感銘を受けた言葉を紹介します。

小西芳之助先生『主の御名を呼ぶ』2月21日

「決勝点

先日、日米水泳選手の競泳に大いなる興味を感じた。彼らは決勝点間近になると全力を出し切る。使徒パウロは言う。「我等は褒美を得んとして競争をなしているのである」と。我々クリスチャンも毎日全力を出さねばならぬ。というのは、日に日に、我々は決勝点なる天国に近づきつつあるからである。

水泳者の褒美は金メダルである。しかし、我々の褒美は永遠の栄えである。諸君はいずれをとるか。金メダルに対してでさえ全力を尽くすのであれば、まして永遠の栄光に対して全力を尽くさないわけには行かないではないか。祈る、神が聖霊を給うて、日毎の仕事をもっと熱心に成すことを得んことを。」

新渡戸稲造先生『一日一言』2月22日

「西暦1732年の今日はワシントンの生まれた日である。彼の今なお神のごとく崇拝されるは、彼が神々しき故に有らずして、徹頭徹尾人らしきが故なり。彼は偉大なる凡人なり。殊に偉大なりしは彼の常識と誠意。この二つ備わればこそ、戦場に臨めば勝ち、廟堂に立てば治まる。常識と誠意、誠意と常識。あらまほしきはこの二つである。」

松下幸之助先生『続 道をひらく』「このめでたさ」

「どんな小さなことでもよい。どんな一隅にあってもよい。やっぱり人に尽くし、世に尽くし、自分も幸せなら他人も幸せ、そんな働きをしてみたい。

結婚のめでたさは、つまりは縁を得た男女が一つになって、この働き、この支えの力を、

さらに豊かに、さらにうるおいのあるものにするところにある。別にむつかしく考える必要はない。今日の一日を、そして明日の一日を、二人の力で、すこしずつ、すこしずつ充実させてゆけばよいのである。その怠りさえなければ、結婚のこのめでたさは、世と人の祝福を受けつつ、限りもなく続くであろう。」

内村鑑三先生『一日一生』2月22日

「信者が復活するのではない、彼のうちに住み給うイエスが復活するのである。彼は義によりて生きたもうのである。しかしイエスは信者のうちにありて復活したもうて、信者と共に復活したもうのである。信者はイエスの復活の同伴にあずかるのである。彼と共に挙げらるるのである。「われ生くれば汝らも生くべし」と彼が言いたまひしはこのことである(ヨハネ伝14・19)かくて信者の復活に、あえて不思議なところはないのである。イエスの復活が当然であり自然である如くに、信者の復活もまた当然であり、自然であるのである。」

パークレー先生『一日一章』2月17日

「聖書は、われわれの必要——それが何であれ——に答えてくれる。
聖書は、悲しみの時に慰めを、苦難の時に導きを、地位を失った時に勇気を、喜びを求めるときに賛美の方法を、教えてくれる。

聖書のうちに、われわれの必要に答えてくれることを見出し得ないような、人生の領域は一つもない。これがこの本の不思議なところである。

聖書はこれに親しめば親しむほど多くのことを与えてくれる。」

カウマン先生『日の出に向かって』1月6日

「神の道を歩む時、絶えることのない力が与えられるのが旅人の特権です。旅人の靴は荒れ果てた道の証ですが、神の力強い御手が、長旅に疲れた弱い足を運びます。

新しい年の入り口にわれらは再び立つ
一年を終えるまでに
いかなるよろこび、励ましが
また、いかなる悲しみ、苦しみが訪れるか
我らは知らない
だが、我らは、このことに安らぐ
神のみが知りたもう知恵で
我らの上になされることは
最善であるということを」

オミクロン株により新型コロナの感染が急速に拡大してしまいました。皆様も、マスク、手洗い、うがいなどはこれまで同様注意され実行されて、お体には十分ご注意下さるようお祈り申し上げます。

2月21日

山口周三

エンカウンター読者の皆様